

虫送りの歴史

これは虫送りの行列だね。
虫送っていつからあった
のかな？



◀ 江戸時代の農学者大蔵永常による『除蝗録』の中のさし絵

太鼓やほら貝、松明をもってあるいているね！

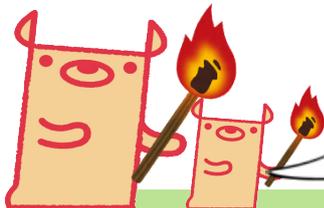
火を使った虫の駆除方法は、紀元前8世紀（約2700年前）の中国で既にあったみたい

虫送りがはじまった時期は定かではありませんが、江戸時代には全国各地で行われていました。

加賀藩では元禄元年（1688）に「河北・石川両郡内で虫送り太鼓を打つときは、金沢城に近いことから事前に藩へ届け出るように」と村々に通知した記録がみられます。

害虫は、非業の死をとげた怨霊のせいだとされ、怨霊を平家の武将、斎藤実盛（1111～1183年）とする言い伝えが各地に伝わっています。

江戸時代には鯨の油の膜を田に張るという画期的な害虫駆除の方法が広まり、虫送りは害虫を駆除するためというよりは、季節の行事として人々に親しまれるようになっていきました。



富奥地域では、一向一揆に敗れた富樫政親の怨霊が虫になって悪さをするという伝承があるよ。
地域によっていろいろな言い伝えがあるんだね。